

認定こども園

遊んで学ぶ 学んで育つ  
～小さな冒険はじめよう～

帯広の森幼稚園



園長便り

令和2年度 No.8 (2020年8月20日発行) 園長：今野隆雄

## お友だちとの再会を喜び 明るく、元気な笑顔で第2学期 始動！

楽しい思い出がぎっしりつまった夏休みが終わり、17日(月)から第2学期が始まりました。始園式にはほとんどの子ども達が、幼稚園に戻って来てくれました。そして、幼稚園は、いつも通り子ども達の躍動感溢れる歓声が園舎にこだまし、活気漲る幼稚園風景が蘇ってきました。

休み中、大きな事故や怪我・病気等もなく、充実した夏休みの日々を送ることができたのではないのでしょうか。これも偏にご父母の皆様方のご協力、ご配慮を頂きましたことに、感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。

さて、2学期は3つの学期の中で教育日数が一番多く、しかも充実した活動を計画している学期です。2学期も1学期と同様、一人一人の子ども達の健やかな成長・発達を願って、全教職員一同一丸となって、一人一人の子ども達に寄り添って共に未来を築いていきますので、保護者の皆様のご理解とご支援の程、よろしくお願い致します。



### 【お知らせ】 ③バスの運転手について

1学期、③バスの運転をしていました、法人本部の渡邊さんに代わり、2学期からは、越川園長代理が乗務します。宜しくお願いします。



# 子どもたち一人一人の成長を 温かく丁寧に見守りましょう。

全日幼のPTA新聞に、こんなことが掲載されていました。  
子どもの“育つ心”に寄り添って……

沈みゆく夕日に向かって「お月さんによろしく!」と語りかけた3歳の女の子。  
散歩の後で「おかあさん たんぼぼって何食べてると思う?」と、ささやいた4歳の女の子。

PTA新聞の「子どもの目」欄を読むたびに、子ども達の『感性の豊かさ』に驚かされ、  
親子の触れ合いの大切さを痛感しました。



## 絵本の読み聞かせのひとときを大切に



絵本を読んでもらう。まさにその途上で、親子の対話が生まれてきます。

「それからどうなるの?」「これ一体何なの?」

テレビやDVDは一方的で、子ども自らの問いかけもなければ、その問への  
応答もありません。しかし、膝の上の絵本のページをめくりながら、読み手  
と交わされる対話こそ、その子にしか持ち得ない世界を築く、自分自身の核  
を作っていく作業の契機となるのだと思います。

絵本を通じて子どもに取り込まれた言葉は、自分と周囲の人々、そのもっと外にいる人々との関係を一つ  
一つかたち創っていく行動につながっていくのです。

どうぞ、子ども達のかたわらで、読み聞かせをする。そのひとときが醸し出す、深くて豊かな意味を存分  
に味わって下さい。又、一学期の終わりに帯広葵学園から園児の皆さんに一冊ずつプレゼントして頂いた絵  
本で夢の世界に浸り、心を大きく膨らませてほしいと思います。

今後とも、保護者の皆様と共に、子ども達一人一人の成長と育ちを丁寧に温かく見守ってまいります。

### ～季節の暦～二十四節気のひとつ

「立秋」(りっしゅう)  
8月7日(金)～8月22日(土)日頃

この日から旧暦では秋になります。  
…とはいえ、最高気温はこの頃ピークを迎えます。しかし、風のそよ  
かぜ、雲の色や形に、なんとなく秋の気配を感じられる時期です。  
ひぐらしが鳴き始め、暑中見舞いもこの日から残暑見舞いになります。



「処暑」(しょしょ)  
8月23日(日)～9月6日(日)日頃

暑さが止むという意味で、処暑(しょしょ)といわれています。  
涼風が吹きはじめ、暑さもようやくピークを過ぎます。また、綿の花  
が開き、穀物も実り始め、収穫もいよいよ近づいてきます。